

ダリア「NAMAHAAGEプリティ」の品種適応性

ダリア「NAMAHAAGEプリティ」は本県の冬春開花作型の切り花栽培に適する

背景・目的

- 宮崎県では、秋田県と連携し、秋田県育成のダリアNAMAHAAGEシリーズのリレー出荷に取り組んでいますが、秋田県で新たに育成されたシリーズ新品種については、本県での適性は不明です。
- 本試験では、リレー出荷体制の安定に繋がるNAMAHAAGEシリーズの栽培品種拡大のため、本県での栽培に適する品種選定を行いました。

成果の内容

- 2018年度に検定した「NAMAHAAGEシリーズ」3品種のうち、「NAMAHAAGEプリティ」は本県の冬春開花作型に適することが分かりました（表1、2、写真1）。
- 「NAMAHAAGEプリティ」は、切り花長では1番花の全てで70cm以上を満たし、2番花および3番花で70cm以下がそれぞれ約16%、約3%発生しますが、最低出荷規格の50cmは全て満たしました（表1）。

表1 各品種の平均開花日、切り花形質、切花長別割合、可販花率、露心花率（1番花n=45~48、2番花n=41~69、3番花n=57~70）

品種名	採花	平均開花日 ^z (月/日)	切花長 (cm)	基部径 ^y (mm)	花首長 ^x (cm)	切花長別割合			露心花率 (%)	可販花率 (%)
						50cm未満	50cm以上 70cm未満	70cm以上		
かまくら	1番花	10/18	102.9 ± 7.8 ^w	8.6 ± 0.8	-	0.0	0.0	100.0	8.5	91.5
	2番花	1/23	89.8 ± 18.0	7.6 ± 1.0	-	0.0	13.3	86.8	0	100
	3番花	4/27	84.8 ± 15.1	6.9 ± 1.7	-	0.0	16.1	83.8	0	100
N. プリティ	1番花	11/15	104.0 ± 23.4	11.9 ± 1.0	-	0.0	0.0	100.0	0	100
	2番花	3/1	91.7 ± 20.8	8.6 ± 1.7	-	0.0	15.9	84.1	0	100
	3番花	4/30	95.3 ± 12.7	7.7 ± 1.9	-	0.0	3.1	96.9	0	100
N. REIWA	1番花	10/24	112.9 ± 20.0	11.4 ± 1.7	-	0.0	0.0	100.0	0	100
	2番花	1/23	103.7 ± 19.3	9.8 ± 2.2	-	0.0	3.8	96.2	0	100
	3番花	3/30	94.7 ± 14.9	9.1 ± 2.9	-	0.0	3.6	96.4	0	100
N. ノンチャン	1番花	11/5	120.4 ± 14.8	11.9 ± 1.9	-	2.2	0.0	97.8	0	95.6
	2番花	2/20	96.3 ± 17.1	10.6 ± 2.9	9.6 ± 8.4	0.0	7.5	92.5	2.5	97.5
	3番花	4/25	87.1 ± 11.3	8.4 ± 2.4	19.6 ± 9.7	0.0	8.0	92.0	0	100

^z 最外層の舌状花が花盤に対して水平に開いた日

^y 収穫した切り口部分の直径

^x 花首長は、特に短いことが観察されたN. ノンチャンのみ2番花から調査した

^w 平均±標準偏差

表2 「NAMAHAAGEプリティ」の特性

品種名	花色	その他の特性
N. プリティ	桃	発根性良い。1番花以降の回転が遅い。露心花の発生はない。時期や個体によって花色に少しばらつきがある。

成果の活用方法(又は期待される効果)

- ダリアNAMAHAAGEシリーズの「NAMAHAAGEプリティ」は、本県における冬春作型において、切り花の規格や形質の点で十分な適応性を示し、リレー出荷を前提とした品種導入に適します。
- 年間を通して市場の需要に応えることができるリレー出荷品種が拡充されることにより、取組の更なる安定強化に繋がると共に、本県ダリア産地のブランド力向上が期待されます。
- 普及対象地域・戸数 中部地域 4戸

留意点

- ダリアは市場ニーズの変化が大きいため、導入に際して事前取引先や実需者等と協議を行うのが望ましいです。

関連研究成果カード：2021年度 後期 番号

関連事業名：花き生産額100億円復活のための高収量・高品質化技術の開発事業(県単)

研究期間：2018~2020年度



写真1 「N.プリティ」